

## ◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

—2025年4月22日第173号—

※Xアカウント #チェンジ川崎

### <目次>

#### ●住宅地に巨大物流倉庫を建てるな！ダイワハウス東京本社に要請行動

#### ◆教員未配置をなくして～教育委員会議での審議の行方は？

#### ▲お知らせコーナー

- ① 4/25・26NHK 首都圏情報ネタドリ！「これからの町内会を考える」(仮)
- ② 4/26 ゆめシネマ「戦雲-いくさふむ-」
- ③ 5/1 川崎メーデー
- ④ 5/8 台風19号多摩川水害川崎訴訟第16回口頭弁論
- ⑤ 5/24 第66回川崎母親大会
- ⑥ 5/25 「公害・環境、健康、まちづくりフェスタ」
- ⑦ 6/1 平和をきずく市民のつどい

#### ★編集後記

#### ●住宅地に巨大物流倉庫を建てるな！ダイワハウス東京本社に要請行動

4月16日(水)晴天。風強く、「巨大物流倉庫は中止」を掲げた幟5本がはたためく中、チラシを配りました。

参加者は10人、チラシは104枚を配布。

ダイワ社員の受け取りは良好でした。

今回で5回目ともなると顔なじみになるのか「ご苦労さま」等の声掛けなどもいただいたり、若い社員と対話が生まれたり、「1時までなんでしょ、いつも見てるよ。」など、社員と言葉が交わされたりもしました。

ダイワハウス本社前の公開空地は、白やピンクのハナミズキの花が満開で、さわやかで、きれいでした。

こんな環境を、西加瀬にも造ってほしいです。

1時間宣伝を終えて、記念写真撮影後、本社ビルに行き、要請書を社長と部長の代理の職員に手渡しました。

<ダイワハウス東京本社ビルに向かって元気良く訴えてきましたので内容を紹介>

職員のみなさんご存知ですか? 川崎市中原区西加瀬の三菱ふそう跡地に日本最大級の物流倉庫の建設計画をダイワハウスがしていることを?

片側一車線の生活道路、住宅密集地のど真ん中に、巨大物流倉庫を建設するなんて言語道断!! 物流倉庫は普通、高速道路のインターチェンジや港湾近くに建設するものです。

倉庫ができると・・・1日1347台のトラック・乗用車が入りし、排気ガス、騒音、振動、粉じん、渋滞、交通事故、24時間年中無休、土日・昼夜通学時間帯おかまいなし、景観悪化、風害、日照被害、熱波など、地域環境が悪化し、安心、安全な暮らしが守れません。

この無謀な計画をストップさせましょう!

今日はこれから要望書をダイワハウス社長さんにお届けします。  
昨年9月、住民と大和ハウスの担当者が話し合いを行いました。

私たちは巨大倉庫建設をやめてほしい。  
もっと緑豊かな憩いの場を作ってほしいと要請しました。

それからもう5カ月が経っていますが、その回答はまだ出ておりません。

私たちの要望に応じて、ダイワハウスの会社方針である「環境への配慮、住民生活との調和」それを目指した計画に検討していただいていると思います。

住民と調和できる緑豊かな環境へ、プロジェクトを進めていただきたい、職員の皆さんも是非応援をしていただきたいと思います。

昨年の住民アンケートでは、95%の住民が物流倉庫建設に反対です。

反対理由や要望もびっしりと400以上の意見が届けられました。

私たちは安全安心な暮らしを心から願っています。

物流倉庫計画は中止し、川崎市とよく話し合っ、住民が喜ぶ計画に変更して欲しい。

今なら間に合います。

大企業の社会的責任を果たして下さい。

今、10ヘクタールの広々とした現場では大きな水たまりが出来ています。

私たちは「西加瀬湖」と呼んでいます。

湖面は波打ち、水鳥が遊びに来ています。

土壌汚染を改善し緑豊かな公園広場、防災空間として跡地が活用されますように望みます。

広瀬千尋通信員(巨大物流倉庫を考える住民の会)

### ◆教育委員会議での「教員未配置をなくす請願」審議の行方は？

4月21日に、教職員連絡会の9名が市教育委員会に提出した「教員の未配置の解消を求める請願」が、川崎市教育委員会議で審議され、結果は、「不採択」となりました。

審議では、教育委員会事務局の説明を受けて、教育委員全員が、本請願の趣旨にある「子どもたちの学ぶ権利が保障されていない深刻な事態」は、確認されなかったと断じて、不採択としました。

学校の困難の事実と真剣に向き合おうとしない教育委員には、失望するばかりです。

この結果を受けて、私たちは次の「声明」を發表し、記者会見を行いました。

#### <審議結果を受けの声明>

私たち川崎市教職員連絡会は、ゆきとどいた教育を求める川崎市民の会と連携し、川崎市立学校における教員の未配置をなくそうと2022年以来運動を続けてきました。

しかし、残念ながら2025年度も教員の未配置が、100名を超え、122.5名の状況でのスタートとなったことが、本で行われた川崎市教育委員会議で明らかになりました。

2024年度は、年度当初から131.5名の先生が未配置という前代未聞の状況からスタートしました。

産休や育休、病気で休職する先生が出て代わりの先生が配置できず、文字通り「教育に穴が開く」状況になりました。

年度当初の教員未配置をゼロにしない限り、この深刻な状況は改善されないことは明らかです。

私たちは、年度当初の教員未配置をなくすよう教育委員会に請願を提出しましたが、2025年度もこれが達成できなかったことは本当に残念です。

年度当初の教員未配置をゼロにするには、川崎市がとってきた正規教員を削減し、非正規教員に過度に依存する政策を転換することがどうしても必要です。

川崎市では2024年4月5日時点で欠員(配置されるべき正規教員が削減されている数)は255.5名でした。

これを非正規雇用の臨時的任用教員で172名しか埋めることができず、「欠員による教員未配置」になった学校は55校(83.5名)もありました。

これに対し、年度当初の教員採用を増やした仙台市では、「欠員による教員未配置」になった学校は1校しかありませんでした。

私たちは、川崎市に対し、年度当初に必要な正規教員を配置して、欠員を大幅に減らし、教員未配置をなくすことを強く要求します。

不登校の増加は子どもたちが発しているヘルプサインです。

今これにしっかり応答する、ゆきとどいた教育が求められています。

私たちは、一刻も早い教員の未配置解消を目指し、子どもたちの願いに応えたいと思います。

大前 博(川崎市教職員連絡会)

## ★お知らせコーナー

### ① NHK 首都圏情報ネットリ！「これからの町内会を考える」(仮)

※3/31 武蔵小杉3丁目町会が解散。五十嵐会長が出演

4/25(金) 午後7:30～午後7:57(予定・生放送)

4/26(土) 午前11:25～午前11:54(再)

[他社の報道](#)

### ② ゆめシネマ「戦雲-いくさふむ-」

三上智恵監督最新作:「国防」最前線

[公式サイト](#)

4/26(土)①9時②12時③15時④18時

申し込み

044-433-3003 ゆめホール

[cinema@kawasakiyume.com](mailto:cinema@kawasakiyume.com)

[詳しくはこちら](#)

### ③ 川崎メーデー

5/1(木)

中原平和公園 野外音楽堂

集会:午前9時40分開場 10時00分開会

デモ行進(中原平和公園->武蔵小杉駅)

12時20分出発予定

[詳しくはこちら](#)

#### ④ 台風19号多摩川水害川崎訴訟第16回口頭弁論

5/8(木)15時開廷

14時半より事前集会

横浜地方裁判所・川崎支部1号法廷

終了後に報告集会

川崎合同法律事務所・7階会議室

問合せ

044-755-0007(長谷川)

044-434-4290(船津)

[詳しくはこちら](#)

#### ⑤ 第66回川崎母親大会

5月24日(土)10時~16時10分

多摩市民館

午前10時~7つの分科会

午後13時10分~全体会 講演 武本匡弘さん

「地球の未来を守るため、いまできること」

資料代800円 高校生まで無料

[詳しくはこちら](#)

#### ⑥ 第30回「公害・環境、健康、まちづくりフェスタ」

5/25(日) 11時~15時

JR溝口駅前ペDESTリアンデッキ

-どうする私たちの川崎-

・大規模開発と緑の保全

・気候変動と水害対策

・健康と介護

・給食無料化と先生不足

主催:「公害・環境、健康、まちづくりフェスタ」実行委員会

044-211-0391(川崎公害病患者と家族の会内)

[詳しくはこちら](#)

## ⑦ 平和をきづく市民のつどい

6/1(日)10時～15時(展示は17時まで)

川崎市平和館(中原平和公園)

講演:濱住次郎さん(日本被団協事務局次長/13時半より)

参加費無料・申込不要

主催:川崎市核兵器廃絶平和都市宣言記念「平和をきづく市民のつどい」実行委員会

連絡先:090-1458-3102(柴田昇)

[詳しくはこちら](#)

## ★編集後記

4月21日の教育委員会議の「教員の未配置の解消を求める請願」審議を傍聴しました。

教育委員会の説明では、今年の新学期も、100名を超える教員未配置となりました。

請願を提出した大前さんが陳述の最初で指摘した「教員の未配置が1名でも、学校現場ではあってはならない！」ことからすれば、多くの学校が大変な状況の中で、新学年をスタートしたことになります。

しかし、この2年間の推移を踏まえると、4月の大変な状況は、年度が進むにつれて、産休育休、病欠や途中退職の先生の代替を埋めることができず、さらに悪化していくのです。(去年は、4月の未配置131.5人が翌年2月には202名に増加)

それが当然予想されるのに、教育委員全員は、「子どもの学ぶ権利が保障されていない事態は確認できなかった」と結論づけたのです。あきれられるばかりです。

もっと、請願者の声、市民の声に耳を傾け、教育委員が自分の目と耳で、未配置の学校の現場を調べようという意見がどうして出てこないのでしょうか。

教育委員会事務局の言い分をうのみにして聞くだけでは、学校の困難な状況は見えてこないし、子どもと先生たちの声が聞こえてこないのです。

一方、昨年10月8日市議会文教委員会は、教員未配置を無くすことを求める請願を否決しました。

その際に、市教委が強弁した「欠員については、臨時任用の制度を活用する。」の文言は、なくなりました。

そして、今回新たに「年度当初の正規教員の確保に優先的に取り組む方針を決定」という文言が入りました。

これは、当然とはいえ、これまでの市教委の硬直した姿勢からすれば画期的な変化です。

そうです、市民の声が市教委の誤った方針を変えてきたことは事実なのです。

この前向きの変化に希望をもって、川崎の教育を変えるために努力していこうと強く思いました。  
(H)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

[mailmag@newkawasaki.jp](mailto:mailmag@newkawasaki.jp)

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆